

滋賀県国際交流・協力情報誌

SIA

しーあ
VOL.118

SHIGA INTERCULTURAL ASSOCIATION FOR GLOBALIZATION



公益財団法人 滋賀県国際協会

Shiga Intercultural Association for Globalization

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20 ビアザ淡海2階

TEL.077-526-0931 FAX.077-510-0601

E-mail: info@s-i-a.or.jp URL: https://www.s-i-a.or.jp

人と人をむすぶ、
人と世界をむすぶ

Contents

- ① 特集 公益財団法人滋賀県国際協会の
“第3期中期計画”を策定しました!
- ③ しが外国人相談センターからの報告
- ④ SIA NEWS
 - ① 「活動紹介〜JICA滋賀デスクから〜」
 - ② 2021年度びわこ奨学生が決定しました。
- ⑤ 今、この人にInterview
外国人女性の会「パルヨン」代表理事 ハッカライネン ニーナさん
- ⑥ おしえて世界のこと 買い物の主な支払い方法は何ですか?
- ⑦ SIAメンバーズ

特集

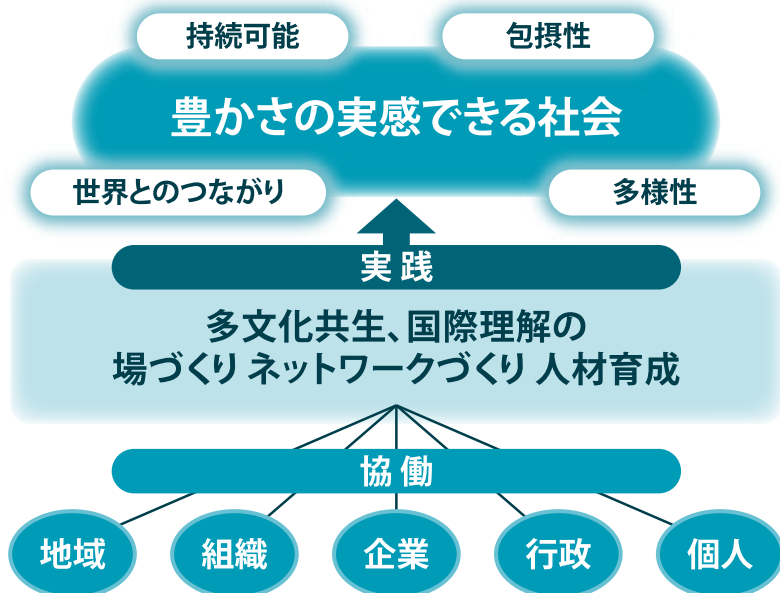
公益財団法人滋賀県国際協会の
“第3期中期計画”を策定しました!

当協会は、2016年に策定した第2期中期計画に基づき、国際交流や国際協力、多文化共生の地域づくりに関する事業を推進してきました。この間、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大をはじめ、県内の外国人人口はこの5年間で8千人増加するなど、社会状況も大きく変化しました。

こうした社会状況の変化を踏まえ、当協会ではこの度、関係者やパブリックコメントによる皆様の意見を参考に、「第3期中期計画(2021〜2025年度)」を策定しましたので、その内容を紹介します。

「共感から実践へ」をテーマに

誰もが安心して暮らせる活力に満ちた地域づくりを推進します



当協会は、県内の様々な人や団体が協働し、多文化共生や国際理解を推進できる場やネットワークづくり、そしてそれらを担う人材の育成を行い、実践的な展開へと広がっていきます。

そして、滋賀県が「世界とのつながり」を感じ、持続可能で多様性と包摂性をもって、すべての人がその人らしく生きることができ、すべての人を地域の一員として受け入れ、支え合える、豊かさを実感できる社会となることを目指します。

第3期中期計画の重点事業

1 次世代人材育成プログラム

SDGsの理念にある「誰一人取り残さない」を主題に、地球的・地域的課題について参加体験学習やフィールドワークを通して学び、課題解決・社会変革に自ら関わる次世代の人材育成を目指します。

さらに、その人材が実践者(ファシリテーター)として活躍できるよう支援します。

目標 県内の高校生から青年層を対象に連続セミナーを実施し、自らがファシリテーターとして活躍できる人材を育成する。

目標指標(累計) ~2025年度

連続セミナー参加者のうち、
自らがファシリテーターとして実践した人数 **15人**

2 国際交流・協カライブチャンネル

WEB会議システム等を活用した新しい交流の機会を創出します。滋賀県姉妹友好州省をはじめとした諸外国との国際交流をオンラインで行い、海外に行くことなく、県民が身近に国際交流を体験できる機会を提供します。

また、関係機関とも連携し、県民や県内企業と海外現地をつなぐ場を提供します。その中で、異文化理解や国際協力の啓発、最新の現地情報や意見交換を行う機会を創出します。

目標 国際交流・協カライブチャンネルを開催し、新たな国際交流や異文化理解、ビジネスチャンスの場を創出する。

目標指標 2025年度

国際交流・協カライブチャンネルの開催回数 **年間5回**

3 災害時外国人支援

大規模地震等の災害発生時に、多言語による情報提供を行うなど、県や市町、市町国際交流協会ほか、近畿および全国の地域国際化協会と連携した支援体制づくりを進めます。

目標 災害時における外国人県民等の支援のための人材を育成する。

目標指標 ~2025年度

災害時外国人サポーターの
活動分野別新規登録者数(累計) **25人**
(内訳)・言語分野(外国語、やさしい日本語) ... **15人**
・運営支援分野 **7人**
・IT 環境等整備分野 **3人**

4 ホームページ運用等の情報発信強化

県民の関心が高いニュースを重点的かつ積極的にホームページで情報提供します。

また、SNS媒体を有効に活用して更なる情報提供の促進に努めます。

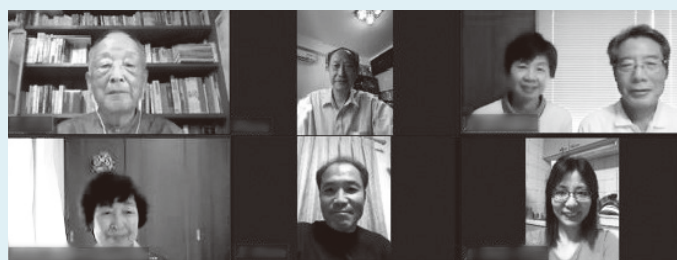
目標指標 2025年度

ホームページアクセス数 年間 **150千件**
(2019年度(実績)132千件)

プレ開催!

国際交流ライブチャンネルを実施しました。

滋賀県と中国・湖南省の友好交流の橋渡し役として長きにわたって活躍されている羅戟さんをスピーカーにお迎えし、ライブチャンネルをプレ開催しました。過去の思い出話から湖南省の現在の状況に至るまで、終始和やかなムードで話に花が咲きました。



■スピーカー：羅 戟(ら げき)さん(中国・湖南省)【上段中央】
■開催日時：2021年6月17日(木) 14時~15時30分
■参加者数：当協会会員6名

次回
予告

第1回 国際交流ライブチャンネル 9月開催決定![交流先:中国・湖南省]

詳しくは、当協会ホームページをご覧ください。

※第1回は会員限定で開催します。第2回以降は他の姉妹都市などをつなぎ、一般の方も参加いただけるよう企画中です。お楽しみに!

第3期中期計画は協会ホームページでも公開しています。こちらをご覧ください。

URL <https://www.s-i-a.or.jp/about/disclosure>



しが外国人相談センターからの報告

(公財)滋賀県国際協会では、13言語に対応した「しが外国人相談センター」で外国人県民等への相談業務を行っています。

今回は、昨年度の状況を中心に当センターについてご紹介します。

2020年12月末現在、滋賀県の外国人人口は108か国・地域、33,076人(県民全体の2.33%)で過去最高となりました。(滋賀県総合企画部国際課調べ)

〈1〉しが外国人相談センターの概要

現在、5名の相談員等を配置するとともに、多言語コールセンターにつながることで13言語(日本語含む)の相談に応じる体制で業務に当たっています。また、2020年3月に滋賀弁護士会と協定を締結し、法律相談を開始しました。労働、離婚、労災、民事補償など解決の困難な相談については専門家に随時つなげて対応をしています。

なお、2020年2月以降、新型コロナウイルス感染拡大に関連し、滋賀県の受診・相談センター(旧帰国者・接触者相談センター)の外国語による相談にも対応しています。

しが外国人相談センター(旧:外国人相談窓口)の変遷

年 月	内 容
1993年4月	外国人相談窓口設置(ポルトガル語、スペイン語)
2015年4月	タガログ語(英語)対応開始
2019年4月	「しが外国人相談センター」に改称 ベトナム語、インドネシア語対応開始
2020年1月	多言語コールセンターによる12言語対応開始

〈2〉相談の概況

2020年度は年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の拡大が外国人県民等にも健康不安や暮らしに甚大な影響をもたらしました。当センターでは、一般の生活相談に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響に対する様々な生活支援や在留、就労などの特別措置に関する情報が多くの外国人県民等に届き、生活の維持が図れるよう、外国語による情報提供や通訳、相談業務に努めました。

このような厳しい局面において、雇用、社会保障、家庭、健康等の通常のセーフティネットの他、在留資格や滞在年数などによる「日本への定住度」、「日本語能力」、「情報へのアクセス力」、そして「コミュニティや日本社会とのつながり」の有無などが外国人県民等の生活の安定に大きく関わることとなりました。

ブラジル人やペルー人等の場合、今なお非正規雇用者が多く、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて雇用面で不安定な状況に置かれていましたが、在留資格に活動等の制限がなく既に日本社会の制度等にある程度馴染んでいたことや、企業に雇用されていた人の多くが失業保険の受給対象になったこと、また既にコミュニティや日本社会とつながりがあったことで、多くは相談に結び付き、生活の維持を図ることができました。

一方、滞在年数や就労等に制限のある外国人県民等の場合、仕事を失い、帰国もできず厳しい状況に置かれた人が多くいました。特に技能実習の在留資格を持つベトナム人などの場合、社会とのつながりが限られている上、言葉の壁もあり、支援の手が行き届きにくい状態にありました。そのような中、県内外から在留や支援についての相談が多く

寄せられました。また、例年では相談件数の少ない個人事業者、留学生、技術者、家族滞在者、短期滞在者など、組織に所属せず、セーフティネットから漏れた様々な国籍の人々からも滞在や生活支援などを求める相談を多く受けました。

【2020年度相談件数】

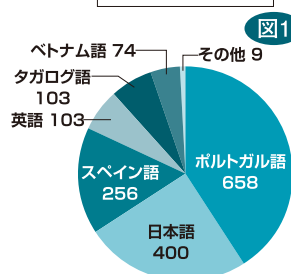
1,603件(昨年度比約1.7倍の増加)

【相談方法別件数】

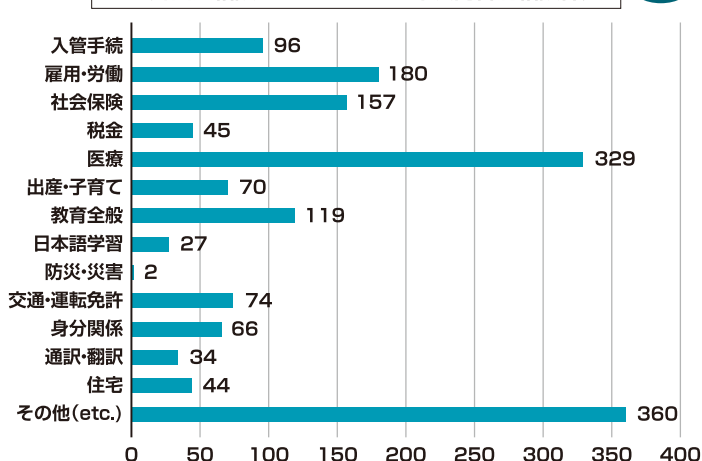
「来訪」122件、「電話相談」1,339件、
「その他」142件

新型コロナ感染症の感染拡大の影響により、昨年度は、「入管」、「医療」分野の相談が大きく増加しました。

相談言語別件数



しが外国人相談センター 2020年度内容別相談件数



一般の相談では、健康保険や年金などの社会保障関連や、高等教育への進学、奨学金情報、学校連絡などの教育関連の相談が多数ありました。また国籍にかかわらず定住者に共通して、離婚や親権、育児、結婚などの家庭相談や税金など各種制度の手続きに関する生活相談が多くありました。

「滋賀県多文化共生推進プラン(第2次改訂版)」の基本目標には、「すべての人が、国籍や民族などの違いにかかわらず、相互に人権と個性を尊重しながら、多様性を活かして活躍できる多文化共生の地域社会を目指す。」とあり、そのためには、外国人県民等が言葉の壁、制度の壁や心の壁で分け隔てられることなく地域で生活できることが大切です。当センターがその一助になれば幸いです。

※この概況は、2020年度の相談をまとめたものです。現在の外国人県民等を取り巻く状況は日々変化しているものとご理解ください。

【しが外国人相談センター】

相談専用電話 TEL:077-523-5646 / FAX:077-510-0601 / E-mail: mimitaro@s-i-a.or.jp

〈対応言語〉日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、ベトナム語、インドネシア語、中国語、韓国語、タイ語、ネパール語、ミャンマー語、フランス語 (※一部、通訳コールセンターの対応となります。)

〈相談時間〉月～金曜日 10:00～17:00(土、日、祝日、年末年始除く)

〈相談方法〉電話、Fax、Email、来所による相談※

※コロナウイルス感染拡大の影響により、来所による相談は休止している場合があります。来所される場合は、事前に確認をお願いします。

News

1

活動紹介

～JICA滋賀デスクから～

「JICA…国際協力…聞いたことはあるけど何をやっているのかよくわかりません。」お会いする方によくこのように言われます。

確かに国際協力と言っても幅広く、なかなか具体的なイメージがしづらいです。そこで私は、県民の方々に国際協力に関心をもってもらえるよう、学校や地域へ国際協力の出前講座に出かけたり、SDGsや国際理解につながるイベント開催、民族衣装体験などのブース出展を行ったりしています。また国際協力は遠い話でなく、これまで多くの県民の方が青年海外協力隊などのJICA海外協力隊として活動し、県内の企業・団体がJICAと連携して途上国の課題解決に貢献しています。そういった滋賀県から世界で活躍している人々の情報を発信し、JICAのプログラムを通じて国際協力に関わっていただけるきっかけ作りに取り組んでいます。



▲小学校での出前講座の様子

JICA関西が行っている参加型の国際協力を紹介する動画「JICA関西が世界をま～るくつなぎませっ!」が完成しました。ぜひご覧ください!

<https://youtu.be/L5tIMpVmWac>



▲協力隊が途上国で暮らして知った(ど)ローカルのごはんパネル展

▼途上国で活躍する滋賀の企業パネル展の様子



次にJICA関西で特に力を入れている2つのことを紹介いたします。

ひとつは国内の多文化共生に向けた活動です。日本の大学院への留学目的で来日したJICA留学生と協力した防災の取り組みや国際教育講座の実施、帰国した協力隊員が持つ経験を国内で生かせるためのサポートを行っています。もうひとつはオンラインでの取り組みです。安心して参加できるよう国際理解のイベントや出前講座をオンラインで実施したり、少しでも世界を近く感じていただけるよう海外とつなぐイベント等も行ったりしています。また、オンラインの良さは関西だけでなく全国(海外でも)どこからでも参加できることです。関西だけでなく全国のデスクで地域の色を出したオンラインイベントを行っていますので、ぜひJICAのHPからイベント情報を確認してみてください。

問い合わせ

JICA関西 滋賀県国際協力推進員(JICA滋賀デスク)

桂 武邦

E-mail: jicadpd-desk-shigaken@jica.go.jp

TEL:077-526-0931(滋賀県国際協協会内)

News

2

2021年度びわこ奨学生が決定しました。

授与式開催日 2021年6月29日(火) 会場 ピアザ淡海

2021年度「外国人留学生びわこ奨学金」奨学生10名を決定し、6月29日に奨学金授与式を開催しました。この奨学金は、県内大学に在籍し、学業や地域活動に励む留学生に対して支給するものです。奨学生からは「学業に励みながら、国際交流活動にも積極的に参加したい」といった抱負が述べられました。

奨学生は勉強だけでなく「びわこ奨学生ボランティア」として国際交流および多文化共生の活動に参画します。



今、この人に **いんたびゅう** Interview

外国人女性の会「パルヨン」代表理事

ハッカライネン ニーナ さん

日本の社会を外国人にとって 住みやすい社会にするために!



■2007年に外国人女性の会「パルヨン」を立ち上げられたきっかけは何だったのでしょうか?

京都市で外国籍市民施策懇話会のメンバーに加わって施策の提言を多数しましたが、行政がすぐに動けるものでもなく、それなら自分たちでしたほうが早いと思い、同じような気持ちの外国出身者と京都に暮らす日本人でグループを作り、外国人女性の支援に取り組むことにしました。当時の国際交流団体が行っていた事業の取り組みというと、生け花や茶道、着物の着付けといった『異文化体験』ばかりなんです。親の介護や子育てなど、言葉がでない外国人女性に向けた生活情報が少なく、彼女たちは毎日の暮らしの情報を得るのにとても苦労していました。外国人住民には行政からの医療、子育て、防災、税金といった『生活支援』の情報がもっと必要なんです。

■グループ名「パルヨン」という名前は どういう思いで付けられたんでしょうか?

パルヨン「paljon」とはフィンランド語で「たくさん」という意味です。たくさんの交流の場で、たくさんの友達をつくり、情報をたくさん得て、たくさんの良いことがありますように、という思いで名づけました。パルヨンでは多様な国籍の人がいます。外国人と日本人、女性と男性と一緒に活動し、日本語を共通語としています。英語、中国語の通訳もあります。お子さんと一緒に参加もできます。

■ところで、ニーナさんは日本に来て 20年以上ということですが、来日の きっかけは何だったのでしょうか?

学生時代にアジアを旅して、日本に興味を持ちました。旅を終えてフィンランドの大学に戻ってから中国語と日本語を勉強しはじめ、「東アジア学科」を専攻しました。また、仏教に興味を持っ

ていて、日本に留学しました。その後、大学院を卒業するため、フィンランドに戻りました。再び来日してから興味は移民政策と多文化共生に変わりました。現在も多文化共生と反レイシズム教育について研究を続けています。

■日本で暮らしていく中で、日本への イメージは変化していききましたか?

日本では初対面で年齢を聞く人が多いことに驚きました。人の年齢や性別、国籍や学歴などの属性で人を判断するのではなく、内面を見て個人を知って欲しいですね。「こうあるべき」という固定観念があり過ぎて、日本人にとっても息苦しい社会になっているように思います。ですから、パルヨンでは誰もが自由に入って話し、あらゆることの問題解決につなげていくような会になって欲しいと思っています。そして、外国人にとっても住みやすい社会にしていきたいのです。

■最後に今後の活動と、現在お住まい の滋賀の印象をお願いします。

現在、パルヨンには40人のボランティアで東京と京都で活動していますが、活動地域をもっと広げていきたいと思っています。様々な会の委員に入り、パネルディスカッションにも参加し、外国人が抱えている課題について積極的に発信しています。

滋賀の風景は湖と森で、私の故郷フィンランドとよく似ています。活動拠点の京都までは電車での往復の毎日ですが、滋賀に戻ってくると癒される気分になりますね。滋賀とも縁ができたので、滋賀在住の外国人女性のニーズに合わせた「パルヨン」の活動にも広げていきたいですね。

【滋賀県国際協会事務局より】

ニーナさんには2021年6月より、当協会の理事に就任していただきました。今後とも、よろしくお願いします。

●プロフィール●

フィンランド出身。1992年来日。2007年、京都に暮らす外国人女性のサポートを目的とした「外国人女性の会パルヨン」を設立。2017年、2021年、外務省・国際移住機関(IOM)主催の「外国人の受け入れと社会統合のための国際フォーラム」にパネリストで参加。その他、講演活動や新聞掲載記事多数。2020年に「京の公共人材大賞最優秀賞」を受賞。現在、大津市在住。

外国人女性の会 「パルヨン」の活動紹介

●何でもしゃべれる会「プフー」の開催

京都府国際センターで1ヶ月に3回(オフライン1回&オンライン2回)、英語と日本語で開催。

「プフー」はフィンランド語で「ざっくりと(遠慮しないで)しゃべれる」という意味。日本での生活、言葉の問題、子育て、医療、近所付き合い、家族の問題、地域の習慣などについて、外国人女性が話題を出し、それについて他の参加者(外国人と日本人)からアドバイスや情報を得ることができる。

●電話サポートとチャット

月に4回サポートの電話&チャットを行っており、ここでは深刻な個人的な悩みを中国語、韓国語、英語、日本語で話すことができる。

●リラックウォーク

▼平等院ヘリラックウォーク

コロナ禍で部屋の中に人が集まることができないため、小さなグループで、日本語と英語で話しながら自由に歩いて美しいところに出かける活動。



●マインドフルネスミーティング

コロナ禍でストレスを抱えている人たちのための瞑想の場で、外国人女性だけで英語で会話。

●1対1で日本語のオンライン指導

●WEB版でも読め、ダウンロードも できる制作物の発行

- ◇やさしい日本語で書いてある「上京区に住む外国人のためのわかりやすい生活ガイドブック作成。(やさしい英語版と中国版も作成)
- ◇日本人向け小冊子「となりの外国人とのおつきあい」作成

●外国人のためのわかりやすい講座の開催

京都のマナー講座&防災講座&優しい日本語講座

★「パルヨン」ホームページ

<https://paruyon.com>

おしえて? 世界のこと

テーマ

買い物の主な支払い方法は何ですか?

皆さんは買い物の支払いには何を使っていますか?現金、クレジットカード、スマートフォンでのキャッシュレス決済など、今やその方法も様々です。

今回は、世界各国で買い物をするときの主な支払方法を聞いてみました!日本では現金で支払いをする人がまだまだ多いというデータもありますが、各国ではどうなっているのでしょうか?

■カナダ

エミリー ラモン カルディナルさん
(滋賀県国際交流員)

カナダでは、クレジットカードやデビットカードが一番使われています。現金を持たないことも珍しくありません!

カードは三つの使い方があります:

①スライド ②チップ ③タップ

スライドは日本によくある磁気ストライプの使い方です。チップは、カードにICチップが入っていて、それをリーダーの機械に入れて、暗証番号を入力します。とても安全な支払い方です。タップは、電子マネーのように、機械にピッと触れるだけでお支払いが出来ます。とても便利です!

■ブラジル

ガブリエルさん (滋賀県国際交流員)

私がブラジルから日本に来た2年前は、ブラジルでは現金が一般的な支払い方法でした。その他にデビットカードやクレジットカード、そして日本であまりみかけない小切手もよく使われていました。ところが、2020年の10月には「ピックス」と呼ばれる即時決済システムが導入され、ものすごいスピードで普及しています。それを使うと簡単にスマートフォンでお金のやり取りができるため、ますます人気になるのではと期待されているシステムです!

■中国

荻野 大さん

(滋賀県誘客経済促進センター(湖南省) 所長)

中国では社会の隅々にまでスマホ決済が浸透していて大変便利です。私も赴任してから財布を持ち歩く習慣がなくなり現金を使ったのは結婚式の祝儀用として位です。中国のスマホ決済は個人の銀行口座と紐づけられているデビットカード式です。自分の決済用QRコードを店の読み取り器にかざす方式と、店のQRコードを自分のスマホでスキャンして金額を入力する方式があります。中国ではこのスマホ決済をベースに様々なサービスが構築されていて人々の生活は便利で効率的になっています。ただ、現金派の方は店に釣銭が用意されていない場合があるので注意が必要です。



▲市場に設置されたQRコード

■中国

郭 絢麗さん (びわこ奨学生)

中国で買い物するとき、よく使うのがAlipayとWechatPayです。スマホがあれば簡単に正確な金額を支払うことができるので、お釣りもいりません。

さらに、買い物だけではなく、光熱費、学費、通話料、交通費など全部スマホで家にいながら支払うことができ、とても便利です。

しかし、デメリットもあります。スマホの通信状況が悪いときやバッテリーが切れてしまったときは支払うことができなくなります。最近では、スマホを出さなくても、顔認証での支払いシステムが広がっています。



▲顔認証による支払いシステム

■アメリカ

谷口 展子さん

(Siena Heights University(ミシガン州)留学生)

ミシガン州では食料品店やレストラン、ガソリンスタンドでもクレジットカード払いが主流で、最近ではスマホ決済やApple Payなどもかなり普及しています。そのため、現金を使う機会はほとんどありません。お店でも100ドル札(日本でいう1万円札)をだすとおつりがなからダメ、と断られることもしばしば。他には、野菜や果物を量り売りしているお店が多く、自分の欲しい分だけ計量して購入することができます。



▲おしゃれで素敵な計量器

■ネパール

田上 史也さん

(2019年度JICA海外協力隊)

日本では最近キャッシュレスが流行していますが、ネパールでは今も変わらず現金での支払いが一般的です。ネパールに約8か月住んでいましたが、その間1人もカードで支払いをする人を見たことがありません。また、財布を持ち歩いている人も日本と比べると少ないです。私も現地の生活に慣れてきた頃にはポケットの中にお金を入れて歩いていました。ただ時々お金の存在を忘れて洗濯することもあったのでおすすめはしません(笑)

■ウズベキスタン

初山 弥生さん (2019年度JICA海外協力隊)

ウズベキスタンでの買い物では現金での支払いが主流ですが、ウズベキスタンでのみ使える「ウズカード」というクレジットカードを使う人も時々います。世界中でよく使われているVISAなどのクレジットカードはウズベキスタンでは使えません。なので常にお金に余裕をもって買い物に行かなければいけません。

小さなお店でお釣がない時はキャンディーやガムがお釣りのかわりです。



▲バザールの様子。ウズベク語が話せる外国人は珍しいので、安くしてくれることもありました。

■ガーナ

小池 木之美さん

(2019年度JICA海外協力隊)

普段、マーケットでは現金を使って買い物をしています。小売店ではお釣りの小銭がないことも多いので、大きいお店に行ったときに極力お金を小さく崩すようにしています。大きなレストランでの支払いや友人とお金のやり取りは携帯を使った電子送金を使う場合もあります。電子マネーを使った賭け事もできるので、携帯を持つガーナ人は多く利用しています。



▲ガーナのお金

■ドミニカ共和国

川平 紗代さん (2019年度JICA海外協力隊)

ドミニカ共和国での主な支払い方法は現金です。大きなスーパーやショッピングセンターではカードが主ですが、それ以外は現金のみの場合が多いです。そこで注意しないといけない事は、その場でお釣りをしっかりチェックすること。算数が苦手な人が多く、お釣りを間違えている事が少なくありません。



▲ドミニカ共和国にある中華街の朝市の写真。もやし(中央のバケツ)は量り売りです!

SIAメンバーズ各店より滋賀県国際協会会員の皆さまに会員相互の交流を目指して
会員特典を提供いたしております。特典利用の際は会員証を提示してください。

お店コーナー

神原税理士事務所

日々の帳簿処理、会計や税金について、できるかぎり、お客様の立場でわかりやすくサポートします。とくに海外勤務や英文経理の経験がある税理士が、日本語が苦手な外国人事業者の確定申告や中小外資法人の会計税務にも対応します。



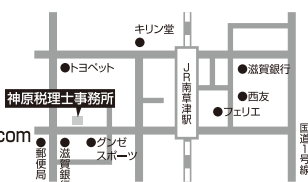
会員特典：相談料無料(何でも気軽に相談ください)

住所：草津市南草津2丁目3-9
コミュニティ南草津ビル3F-B
(南草津駅西口より徒歩5分)
電話：077-599-3480
(電話受付可)

URL: <http://www.kambara-office.com>

営業時間：9:00～17:00

定休日：土・日・祝



中華料理 オーパスワン



★夏のおすすめコース★

お一人様 3,500円(税込)

- 前菜盛合
- ミニ担々麺
- スープ
- デザート2種
- 海鮮料理
- 肉料理
- 野菜料理

会員特典：会員証提示でソフトドリンク1杯サービス

住所：野洲市市三宅2531 アルテールななのい1階

電話&FAX: 077-586-6028

営業時間：ランチ 11:00～14:00

ディナー 17:30～21:30

(ラストオーダー21:00)

JR野洲駅徒歩5分 駐車場完備

定休日：水曜日と第1・第3木曜日

※定休日は予告なしで変更になる場合がございます。事前にご確認ください。



西洋料理 ロジェ・ソバージュ

ロジェ・ソバージュの思い。

フォアグラ・キャビア・トリュフ=フレンチって一体誰が決めたの? フランス人だってそんな高級料理、めったに食べていませんヨ。フレンチって何? それはフランス人が日頃食べているような料理。日本料理も同じ。日本人が日頃食べているような和食。そんなロジェ・ソバージュのリーズナブルなフルコース料理。税込1,650円。



きっと満足していただけると思います。ご予約をお待ちしております。

会員特典：肉料理のステーキに
フォアグラのポワレをお付けします。

他のサービスとの併用はできません。

住所：近江八幡市堀上町99-12

電話：0748-36-8123

営業時間：ランチ 11:00～14:00

ディナー17:00～21:00

定休日：不定休



Siam Erawan サヤムエラワン



「微笑みの国・タイ王国」に癒されていませんか? サヤムエラワンでは、本場タイの味をそのままに、ランチ(火～土曜)とディナー(4名様以上の予約制)をお楽しみいただけます。料理教室やフルーツカービングなどのタイカルチャー教室は予約制にて。タイを感じていただける企画満載のお店です。お問い合わせはサヤムエラワン(塚本)まで。LINEのIDは@siamerawanで探してみてくださいね。

会員特典：各種教室料金・飲食代5%OFF

住所：東近江市八日市町11-16

営業時間：ランチ11:30～ 定休日：日・月曜日

電話：0748-22-0422 携帯：090-1131-9344

URL: <https://www.siamerawan2558.com>



ドイツレストラン ヴュルツブルク WÜRZBURG

夏のおすすめメニューが始まりました。今年も、大人気の特製スペアリブをはじめ、ドイツビールにぴったりなお肉、お魚料理をご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。



会員特典：5%飲食代金割引(ご本人含む6名様まで)

※クレジットカード・その他割引との併用不可

住所：大津市由美浜5番地

電話：077-526-3500 FAX: 077-526-3539

E-mail: wuerzburg@mx.biwa.ne.jp

URL: <http://www.biwa.ne.jp/~wuerzburg/>

営業時間：

ランチタイム 11:00～15:30(ラストオーダー 14:30)

ディナータイム 17:00～21:00(ラストオーダー 20:00)

定休日：不定休



ミシガン州立大学連合日本センター

<2021 秋季英語プログラム受講生募集!!>

【開講期間】

2021年9月28日(火)～2021年12月11日(土)全10回 ★募集中!!

【教室】

ミシガン州立大学連合日本センター(彦根市松原町)

近江八幡教室(近江八幡市鷹飼町)

【クラス】

●一般コース：初級から上級まで5コース

(1クラス60分・高校生以上対象)

●EBC：バイリンガル小中学生クラス※

※面談と体験レッスンが必須です。

ホームページ右上【問合せ】からご予約ください。



会員特典：受講料5%OFF

※お申し込み時にSIA会員であることを申し出ください。

住所：彦根市松原町1435-86

電話：0749-26-3400 FAX: 0749-24-9356

URL: <https://www.jcmu.net>

E-mail: sifah@mx.bw.dream.jp



SIAメンバーズ

トラベルコーナー

会員証を提示いただきますと、割引特典がご利用いただけます。
お申込・お問い合わせの際には滋賀県国際協会の会員であることをお申し出ください。

東武トップツアーズ 滋賀支店

東京オリンピック・パラリンピックのオフィシャル旅行サービスパートナーとして、大会成功に向け取り組んでいます。

会員特典:

・国内パッケージツアー
(FEEL)

基本旅行代金の5%割引

・海外パッケージツアー
(JALPACK)

基本旅行代金の5%割引

住所: 草津市若竹町17-10 KB21 2階

電話: 077-565-0109

FAX: 077-565-0112

E-mail:

yasutaka_kume@tobutoptours.co.jp

URL: <http://www.tobutoptours.co.jp/>

営業時間: 9:00~18:00

定休日: 土・日・祝

琵琶湖汽船
ミシガンクルーズ

びわ湖の南湖を周遊する、赤いパドルが目印の外輪船ミシガン。湖国大津の玄関口・大津港の他、におの浜観光港(びわ湖大津プリンスホテル前)や柳ヶ崎湖畔公園港(びわ湖大津館)にも寄港します。(予約制)三井寺や石山寺、比叡山などの周辺観光と合わせてお手軽にびわ湖遊覧をお楽しみいただけます。船内ではびわ湖の雄大な景色を望める他、お食事や観光案内、ライブショーなど、充実したクルーズタイムをお過ごしいただけます。



会員特典: ミシガンクルーズ

乗船料10%引(本人含む5名様迄)

企画商品・セット商品などは除く / 他割引併用不可

※ピアノカまたは他の船舶が運航する場合がございます。運航ダイヤなど詳しくはお問い合わせください。

住所: 大津市浜大津5丁目1-1

電話: 077-524-5000 FAX: 077-524-7896

URL: <https://www.biwakokisen.co.jp>

営業時間: 9:00~17:00(予約センター受付時間) 定休日: 無休

SIAメンバーズの募集について

当協会会員の皆さまの相互交流の推進を目的に会員様のお店や事業の紹介をしている「SIAメンバーズ」では、この度、お店の情報等の掲載に協力いただける方を募集します!

掲載の条件は「当協会会員であること」「会員特典を実施していただけること」の2点です。

詳しくは、当協会事務局までお問い合わせ下さい。

TEL 077-526-0931 E-mail info@s-i-a.or.jp



SIA会員募集のご案内

県民の皆様の当協会の活動に対する理解と幅広い参加をいただくために会員を募集しております。国際交流や多文化共生地域づくりに関心をお持ちの方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- 当協会主催イベント参加費の割引
- 県内外料理レストラン、琵琶湖汽船、旅行会社等の利用割引、優待等
- 当協会情報誌のお届け
- 県内イベント案内のメルマガ配信
- 国際情報サロン図書等や国旗の貸出サービスあり

SIAサイトはこちら



ホームページ



Facebook

ご入会
ありがとうございました。

会費・会員情報

・学生会員 1口年額 1,000円

・個人会員 1口年額 2,000円

・団体会員 1口年額 10,000円

【現在の会員数】 2021年6月30日現在

・個人会員/239人 ・団体会員/90団体

【新規入会】 2021年3月1日~6月30日

・個人/4人

寄附紹介

下記の法人様よりご寄附いただきました。ご厚志に感謝いたします。

寄附金は、国際交流推進や多文化共生の地域づくり推進など、当協会の事業に活用させていただきます。

有限会社 三王都市開発

100,000円

(敬称略)

ピアザ淡海1階の
パスポートセンターで
パスポート申請をされる皆様へ

当協会が実施しておりますパスポート申請用の写真撮影業務については、諸事情により当面の間、休止しています。申請者の皆さまにはご不便をお掛けしますが、パスポート申請の際には写真をご持参の上、パスポートセンターまでお越しください。

